

高床式砂栽培農業（人・環境に優しい軽労化農業）

概要

高床式砂栽培農業とは、栽培床を高床構造にすることで作業者の足腰の負担を軽減し、高齢者や身体に障がいを持った方も栽培に取り組むことが出来ます。また土ではなく透水性・通気性の良い砂を用いることで、作物の根の健全性を維持しつつ、一定の負荷を与えることで野菜本来の味を引き出すことが出来る栽培方法です。

特徴

- 栽培ベッドは高床構造なので腰を曲げずに作業が出来ます。車椅子の方でも作業できる構造で多くの福祉施設にも導入いただいています。
- 栽培ベッド全ての面で通気性を確保することで培地を好気的な環境にし、根の健全性、微生物の活性を促します。また排水性と保水性を兼ね備えた砂を使うことで根の病気や連作障害が発生しにくくなり、培地交換は不要となります。
- 砂栽培装置、栽培管理マニュアルを用いることで栽培経験がない方でも簡単に野菜作りが出来ます。

今後の展開

- 近年は高床式砂栽培設備を導入する一般企業様が増加しており、高齢・障がい者雇用問題、都市近郊型農業の活性を目的として参画されています。今後はバリアフリーに特化した温室、栽培設備の開発に取り組み、砂栽培を通じて障がいをお持ちの方にも生産性の高い農業を実践していただけるよう取り組んでいきます。

テーマ「万博、そしてその先へ～科学技術が描く未来～」との関連

- 従来の水耕栽培、養液栽培にはない『微生物との共生』という砂栽培の強みを生かし、食品残渣を堆肥化する辰巳環境開発株式会社との協力の元、輸入肥料に頼らない野菜生産にも取り組み、環境データ、栽培データを活用することで定量的な有機栽培を目指します。

